

《Lesson 7》 to 不定詞（形容詞的用法）

「to 不定詞」は、名詞の後に足すことで「～するための」「～すべき」「～しなくてはならない」「～するには」という意味を名詞に持たせることができます（形容詞的用法）。ポイントは、

形容詞的存在にもかかわらず名詞の後ろに足すというところ

です。一般的に形容詞が名詞につく場合、good song のように「形容詞＋名詞（良い＋歌）」の順番になるのが基本的な形なのですが、今回の「to 不定詞」は、名詞の後ろに足されます。例えば、homework to do というのは「名詞＋ to 不定詞（宿題＋しなくてはいけない）」の形になります。

<例> homework to do (to do homework = ×) 「しなくてはいけない(すべき)宿題」

《例文》 I have homework to do. (私には、しなくてはいけない宿題があります)

someone to help me (to help me someone = ×) 「私を助けてくれる(助けるための)誰か」

《例文》 I need someone to help me. (私は、私を助けてくれる誰かが必要です)

ポイントは、

どこからどこまでが「名詞＋to不定詞」の形になるのかを見分けることです。

【to 不定詞の形容詞的用法：作り方】

ステップ 1：日本語の文を英語の文の順番にする。

ステップ 2：英語の文の順番にした日本語を英語にしていく。

<例1> 「私は、今日しなくてはならない宿題があります」という文の場合。

ステップ 1：日本語の文を英語の文の順番にする。

私は、あります、宿題が、しなくてはならない、今日。

ステップ 2：英語の文の順番にした日本語を英語にしていく。

I have homework to do today.

<例2> 「私は、私を助けてくれる誰かが必要です」という文の場合。

ステップ 1：日本語の文を英語の文の順番にする。

私は、必要、誰か、助けてくれる、私を。

ステップ 2：英語の文の順番にした日本語を英語にしていく。

I need someone to help me.

